

1 教科について

国 語

昨年度の課題

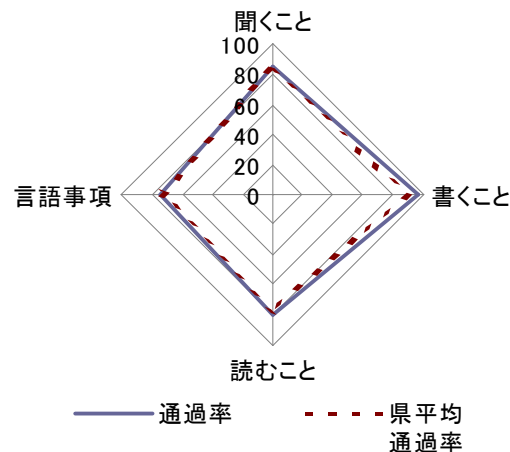
- ①読むこと（場面の移り変わりや情景背景の想像）に課題がある。心情の変化をとらえて、言動の理由を適切に読み取らせる指導が不足している。
- ②漢字を文や文章の中で使わせる指導やへんやつくりと関連付けた漢字の読み書きに関する指導が不足している。
- ③読むこと（物語を読んで思ったことや考えたことと、その理由を書く）に課題がある。登場人物の心情や場面についての描写をとらえ、それらを表現している叙述について自分の考えをまとめる指導が不足している。

昨年度の課題を受けて  
具体的に取組んだ事項

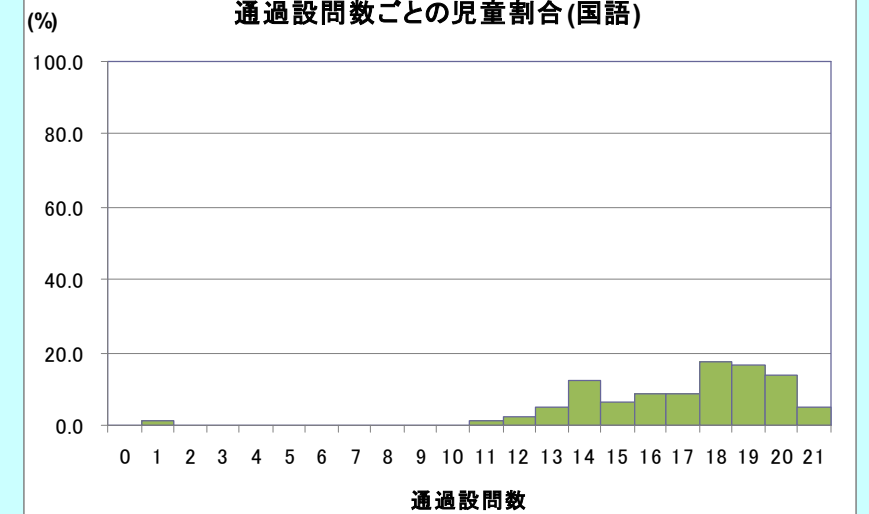
- ①国語科の授業で、説明文の読み取りに重点をおき、文章中の言葉を手がかりに、叙述に即して読み取る学習を重ねた。
- ②新出漢字の指導時や漢字の成り立ちの指導時に、辞書を積極的に利用させ、進んで調べる習慣をつけさせた。また、家庭学習で下学年で習った漢字を復習させたり、漢字を文や文章の中で積極的に使わせたりした。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 80.6 % 県平均 78.5 %

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査  
◇:全国学力・学習状況調査

- ◎・・・文中における主述の関係がつかめていない。
- ◎・・・簡単な言葉をローマ字で表記することに課題がある。
- ◎・・・登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述をもとにして正しく読み取ることができていない。
- ◇・・・

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①説明文で学習している叙述に即した読み取りが物語文でも生かせるよう、根拠となる叙述に着目し、根拠を明確にして読み取る言語活動の場を物語文において多く設定する。
- ②桜山タイムや家庭学習で、繰り返しローマ字表記の練習や主述の関係をつかむドリル練習に取り組ませる。

来年度の目標値

- 「言語事項」領域の通過率を県平均+2ポイントとする。
- 情景や心情変化の読み取りに関する設問が県平均通過率を上回るようにする。

# 指導方法等の改善計画について

## 算 数

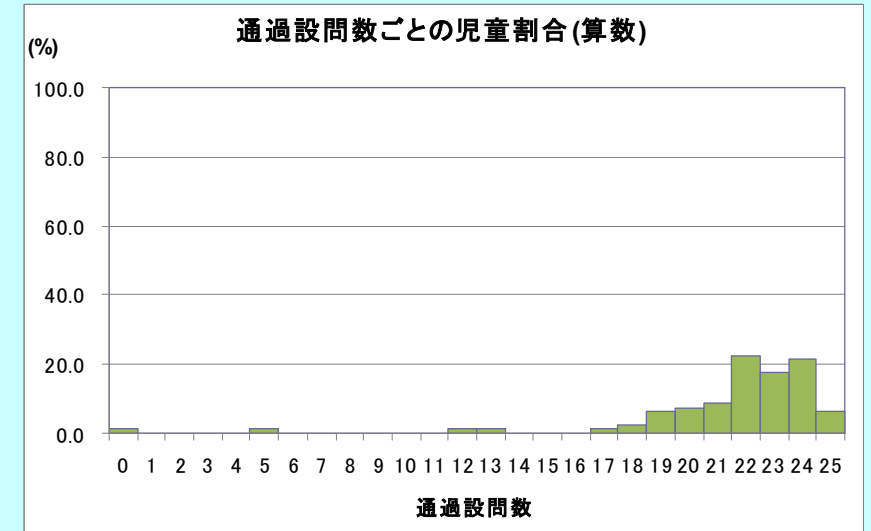
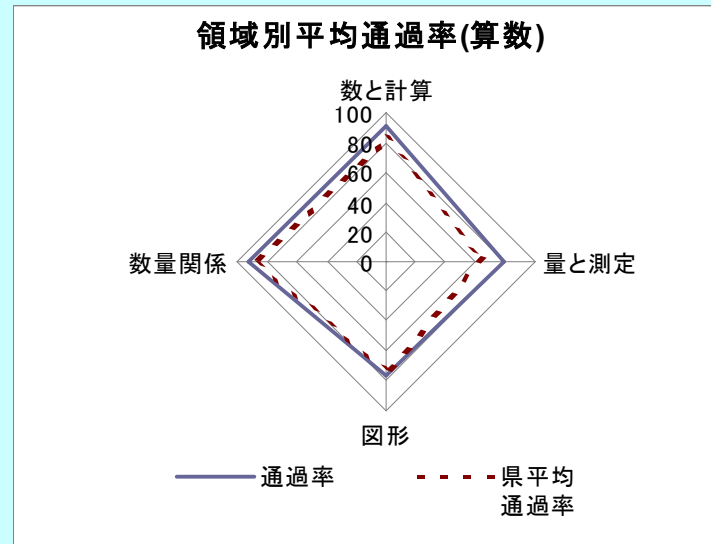
### 昨年度の課題

- ①長方形の求式をもとに、たて・横の長さをつかむことにより、面積の単位についての量感を身に付ける指導が不足している。
- ②(三位数)÷(二位数)の計算では、商の見当をつけたり計算の手順を理解させたりする指導が不足している。
- ③基本的な平面図形(台形)の面積の出し方を理解させる指導が不足している。

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ①「面積」「体積」の単元を中心に、たて・横あるいは高さや面積、体積の関係や体験的活動を取り入れて量感をつかませるようにした。
- ②「小数のわり算」の単元で、筆算の計算の手順を再確認し、習熟を図らせた。
- ③単位面積(体積)のいくつ分にあたるかという面積や体積の表し方をしっかりつかませ、求積公式の意味を正しく理解させた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **85.9%** 県平均 **77.8%**



### 重点課題

- ◎: 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇: 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・およそ1kgという量感がつかめていない児童が多い。
- ◎・・・四角形の定義、性質から図形を判断することができない児童が多い。
- ◎・・・題意に合う図形を方眼紙に作図することができない児童が多い。
- ◇・・・

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

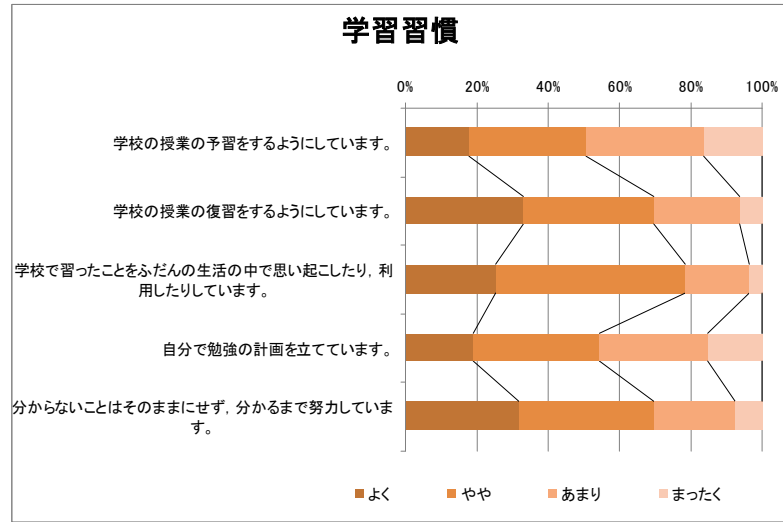
- ①当該学年で重さの学習をする際には、身の回りの様々な具体物の重さを調べたり確かめたり等、重さについての感覚を体験的につかませる場を設定する。また、理科や家庭科とも関連付けて学習させる。
- ②作図や測定を行うなどの算数的活動を意図的に仕組む。四角形の定義や性質を使った学習はふだん知識として使うことが少ないので、掲示物の工夫をするなどして次につながるようにする。

### 来年度の目標値

- 「図形」領域の通過率を県平均+5ポイントとする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

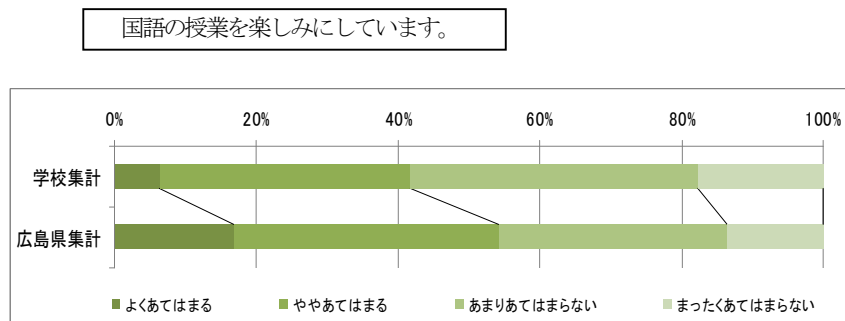
(1) 生活・学習



改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎・・・進んで予習をしたり，自分で計画を立てて学習を進めたりできる児童が少ない。 ◇・・・	・自主学習の進め方や計画の立て方について，学年実態に合わせ，具体例を示しながら指導していく。

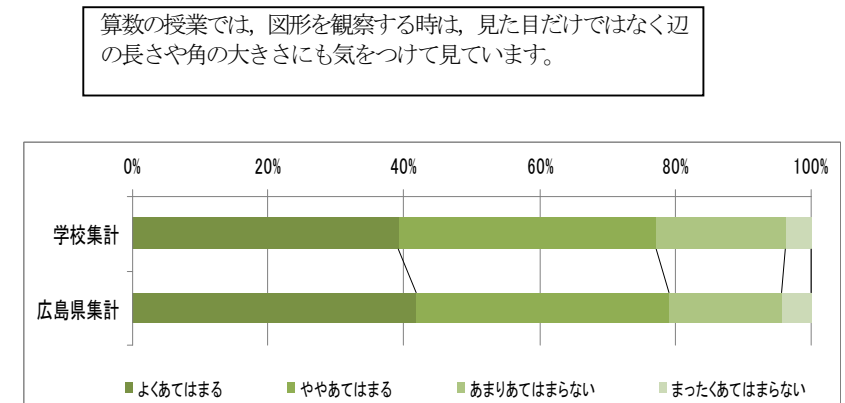
来年度の目標値	
	・「自分で勉強の計画を立てる」児童を60%以上にする。 ・

(2) 教科



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎・・・国語の授業を楽しみにしている児童が半数に満たない。(41.7%)授業において国語のおもしろさを伝え切れていない。 ◇・・・	・1時間1時間の授業における活動目標を明確にし，児童が授業の中でどんな力をつけたのか実感でき，授業に達成感を持つことができるように有効な言語活動を設定する。
算数	◎・・・図形の学習において，見た目だけでなく，数値に着目してとらえている児童が他項目に比べると少ない。 ◇・・・	・かさや重さ，広さなどを比較する場面で，大小を考えるだけでなく，「どれだけ大きい(小さい)かを数値で表す習慣をつける。 ・具体物と図，表，式などの結び付き・関連を，言葉で表現する場を授業の中で多く設定する。

来年度の目標値	
	・図形を観察する時は，見た目だけでなく辺の長さや角の大きさにも気をつけて見ることのできる児童を80%以上にする。 ・



指導改善のための実施スケジュール

		～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
		Plan	Do			Check		検証	Action	Check	
		<p>結果の分析・H22の改善計画の見直し H23の改善計画の実施</p>							<p>次年度の計画</p>		
【教科】	国語	← 結果の公表 年間指導計画見直し		← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施					← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施		
	算数	← 結果の公表 年間指導計画見直し		← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施					← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施		
		<p>・日記指導・音読タイムでの暗唱・えんぴつタイムでの作文指導・授業形態の工夫・改善</p>									
		← 結果の公表 年間指導計画見直し		← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施					← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施		
		<p>・授業改善・補充プリントの作成, 実施 個に応じた指導方法・辞書の活用・家庭学習での反復練習</p>									
		← 結果の公表 年間指導計画見直し		← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施					← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施		
		<p>・補充プリントの作成実施・ドリルタイム, 桜山タイムでの繰り返し学習による計算習熟</p>									
		← 結果の公表 年間指導計画見直し		← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施					← 各学年で評価・検証 研究部中心に改善 計画立案, 実施		
		<p>・個に応じた指導方法, 多様な解き方の比較や算数的活動を重視した授業形態・TTや少人数指導による授業形態の工夫・改善</p>									
【生活・学習】		<p>・個に応じた指導・支援方法, 総合的な学習の時間における調べ学習の充実</p>									
		<p>・朝会, 暮会の活用・道徳の時間における自己肯定感を高める指導</p>									